

## 黒川 徹 (くろかわ・とおる)



〈制作コメント〉

土のやわらかさと洗練されたかたち。かつてトルコの博物館で見た4000年前の土器は、人々の思想を反映した抽象芸術でした。その古代の土器は、近年制作する作品群の原点となっています。壺形を展開し、クラインの壺のように内外が反転します。私はその空洞のかたちに数学的な美しさを追い求め、同時に「無」という自身の精神を投影しています。

陶歴

1984年 亀岡市(京都府)に生まれる  
2007年 筑波大学芸術専門学群美術専攻彫塑卒業  
2009年 京都市立芸術大学美術研究科修士課程工芸専攻陶磁器修了  
2011年 個展「有機体の幾何学」(INAXガレリアセラミカ/東京)  
2012年 滋賀県立陶芸の森ゲストアーティスト  
2013年 個展「オーガニックプロセス」(新北市立鶯歌陶瓷博物館/台湾)  
2014年 「現代・陶芸現象」(茨城県陶芸美術館)  
2015年 The 15th Dahab international symposium (エジプト)  
Baikal-CeraMystica (ロシア)  
2017年 第11回国際陶磁器フェスティバル美濃 審査員特別賞  
2018年 The 5th international art symposium Olympus (トルコ)  
Ceramic Laboratory (マーク・ロスコ・アートセンター/ラトビア)  
京都×バリ Savoir-faire des Takumi 対話と共創(フランス)  
2019年 「土と抽象—記憶が形に生まれるとき」(益子陶芸美術館/栃木)  
「交流と実験—新時代のくやきもの」をめざして」(滋賀県立陶芸の森)  
韓国世界陶磁ビエンナーレ(利川世界陶磁センター/韓国)  
2020年 台湾国際ビエンナーレ(新北市立鶯歌陶瓷博物館/台湾)  
2021年 「Hands and Earth」(カトナ美術館/アメリカ)

現在 京都府亀岡市在住

## 田淵 太郎 (たぶち・たろう)



〈制作コメント〉

白磁の白い肌に灰が降りかかり釉化した淡いブルー、炎により色づくオレンジやピンク、あるいは薪に埋もれ炭化し生まれる墨色のグラデーション土を練り 薪を割り 窯を焚く  
炎の先に見える景色を、美を追求したい

陶歴

1977年 高松市(香川県)に生まれる  
2000年 大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸コース卒業  
2003年 第21回朝日現代クラフト展 優秀賞  
2007年 穴窯築窯  
SOFA NEW YORK (ニューヨーク・アメリカ)  
2013年 「日本現代陶芸の息吹」(Espace Culturel Bertin Poirée/フランス)  
平成25年度香川県文化芸術新人賞  
2014年 「用の美 現代工芸の佇まい」(日本橋高島屋/東京)  
「Dialogue with Materials: Contemporary Japanese Art and Crafts」(トルコ)  
2015年 個展(TOMIO KOYAMA GALLERY/東京)  
2017年 「クロスポイント交差する視線—20の表現」(香川県立ミュージアム)  
2018年 「欲しいがみつかるうつわ展」(茨城県陶芸美術館)  
個展(拂石/中国)  
2019年 「高松市美術館コレクション+ ギョウのヒミツ」(高松市美術館/香川県)  
令和元年度香川県文化芸術選奨

現在 香川県高松市在住

## 高橋 朋子 (たかはし・ともこ)



photo: 木村直人

〈制作コメント〉

昨年から今年にかけて、天体や、その光を強くイメージしながら制作していたように思います。このシリーズは金、銀などの上澄(厚箔)や金属箔などを重ね、白磁胎に数回に渡って焼きつけていくのですが、その作用による表情は予想がつかず、毎回小さな驚きと歓びを与えてくれます。それは夜空のうつろいに感応する心持ちに似ています。そのような素朴な感覚をやきもので表現できたら、と思います。

陶歴

1974年 札幌市(北海道)に生まれる  
1997年 沖縄県立芸術大学デザイン工芸科陶芸コース卒業  
1999年 沖縄県立芸術大学生活造形研究科陶芸専修修了  
2001年 千葉県にて開窯  
2014年 第10回国際陶磁器展美濃 陶磁器デザイン部門 銅賞  
2016年 第56回日本クラフト展 奨励賞  
第63回日本伝統工芸展 入選(同~'20)  
「近代工芸と茶の湯Ⅱ」(東京国立近代美術館工芸館)  
個展(ルーサイトギャラリー/東京)(同'17'18'20)  
2017年 第10回現代茶陶展 TOKI織部優秀賞(同'20)  
清州工芸ビエンナーレ グローバルバビリオン(韓国)  
2018年 個展(日本橋三越本店/東京)  
個展(ART Space 563/台湾)(同'21)  
2019年 第25回日本陶芸展 茨城県陶芸美術館賞  
第8回菊池ビエンナーレ 奨励賞  
2021年 「近代工芸と茶の湯のうつわ」(国立工芸館/石川)

現在 千葉県八街市在住

## 増原 嘉央理 (ますはら・かおり)



〈制作コメント〉

表現は生滅の輪郭をなぞる行為に似ています。いま、目前に存在するものは全ての過去の軌跡にすぎず、可視も不可視も数多の生死の積み重ねが現を構成する。私自身と作品も同様に、この瞬間にも大きな輪の中の一つとなり続け有限の時を重ねてゆきます。有為の奥山を彷徨う中でだれもが皆、現世(いま)に佇み、そこには繰り返し行われる生滅の形が存在しているのです。

陶歴

1985年 札幌市(北海道)に生まれる  
2004年 英国留学  
2008年 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科陶磁専攻卒業  
平成19年度武蔵野美術大学卒業制作 陶磁賞  
めし碗グランプリ展 審査員特別賞(同'12)  
2009年 瀬戸市新世紀工芸館セラミックコース修了  
2010年 第40回ながさき陶磁展 インテリア・工芸部門最優秀賞  
第21回日本陶芸展 入選(同'15'17'19)  
2012年 そば猪口アート公募展 安曇野市教育委員会賞  
2013年 第5回菊池ビエンナーレ展 入選  
2015年 個展(銀座 黒田陶苑/東京)(以降毎年)  
2016年 第56回東日本伝統工芸展 朝日新聞社賞  
第63回日本伝統工芸展 入選(同'18'20)  
伊丹国際クラフト展 審査員賞  
日本陶磁協会現代陶芸奨励賞北海道展 現代陶芸奨励賞  
2019年 第59回東日本伝統工芸展 奨励賞('18'20'21 入選)  
第66回日本伝統工芸展 日本工芸会新人賞  
第7回陶美展 高島屋賞(同'14'16(2作品)'17'18 入選)

現在 北海道札幌市在住

## 谷 穹 (たに・きゅう)



〈制作コメント〉

これらは今ここに在り今ここにない  
信楽という「意識」を新たに構築してゆくうちに  
長い長い長い道の一端に立っていた  
東の彼岸を経由する円環の湿った道  
西の果てへつながる乾いた道  
美意識を証明する技術は時間を越えて在る  
その水準を超えて

陶歴

1977年 信楽町(滋賀県)に生まれる  
2000年 成安造形大学立体造形クラス卒業  
2007年 双胴式穴窯築窯  
2012年 単室式穴窯築窯  
2015年 個展「LAND eSCAPE」(ギャラリーバルク/京都)  
「これからの、未来の途中—美術・工芸・デザインの新鋭11人展」(京都工芸繊維大学美術工芸資料館)  
個展「ローローロ」(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA)  
2016年 個展「ローローロ」(ギャラリーあしやシュール/兵庫)  
2017年 「泥仲間」中ハシクシゲ×谷穹(ギャラリーあしやシュール/兵庫)  
個展「信楽 風景」十碗十壺+ONE(靱鞆/京都)  
2018年 「守破離」堀尾貞治×越野潤×谷穹(ギャラリーあしやシュール/兵庫)  
個展「黒 盃」十碗十壺+ONE(靱鞆/京都)  
2019年 個展「Air」(NOTA\_SHOP/滋賀)  
個展「火色」十碗十壺+ONE(靱鞆/京都)  
2020年 「健在する日本の陶芸—不如意の先へ—」(益子陶芸美術館/栃木)  
2021年 個展「信楽回歸 ムカシノ記憶」(靱鞆/京都)  
「No Man's Land—陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先—」(兵庫陶芸美術館)

現在 滋賀県甲賀市在住

## 松村 淳 (まつむら・じゅん)



〈制作コメント〉

「今」を見出す事はとても難しい。しかし、それにダイブする事でしか自己を知る事が出来ない。その為に、この素材の反作用が必要であり、制作は自己の観察だ。文化を遺伝子として伝承できるのは人間が得意とする性質である。その遺伝はそれぞれの「今」と「今」から成り立つ。

陶歴

1986年 船橋市(千葉県)に生まれる  
2010年 サウスアラバマ大学生物学科卒業  
2015年 多治見市陶磁器意匠研究所修了  
マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今—伝統と革新 入選  
2016年 「やきもの現在 土から成るかたち—Part XIV」(ギャラリーヴォイス/岐阜)  
ART BEIJING (Agricultural Exhibition Centre of China/中国)(同'17)  
SOFA CHICAGO (Festival Hall/アメリカ)  
Fine Art Asia (Convention and Exhibition Centre/香港)  
第3回金沢・世界工芸トリエンナーレ 入選  
2017年 TEFAP Maastricht (MECC MAASTRICHT/オランダ)  
アートフェア東京(東京国際フォーラム)(同'18)  
COLLECT (Saatchi Gallery/イギリス)  
「ishoken Gallery vol.5 松村淳」(多治見市陶磁器意匠研究所/岐阜)  
個展「MOMENT」(Giant Year Gallery/香港)  
2018年 金沢卯辰山工芸工房修了  
2020年 「青か、白か、—青磁×白磁×青白磁」(茨城県陶芸美術館)  
個展「松村淳作品展」(工房イッコ/岡山)  
2021年 「豊かなる茶陶」(茨城県陶芸美術館)  
「No Man's Land—陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先—」(兵庫陶芸美術館)  
個展「METAFICTIONAL ADAPTATION CYCLE」(現代美術舂屋/京都)

現在 埼玉県宮代町在住